

二日酔いで運転、出勤か？

飲酒運転取り締まり強化中

2015/11/09 17:09

【砂川】砂川署の50代の男性巡査部長が1日、二日酔いの状態で乗用車を運転して出勤し、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで任意で事情聴取を受けていることが9日、道警への取材で分かった。同署管内では6月、飲酒運転とみられる乗用車が軽ワゴン車に衝突し一家5人が死傷する事故が起きており、同署は飲酒運転の取り締まりを強化していた。巡査は1日午前9時半ごろ、酒気を帯びた状態で自家用車を運転し、同署に出勤したという。勤務中に酒の臭いがすることに同僚が気付き、呼気を調べた結果、酒気帯び運転の基準値(呼気1リットルあたり0・15ミリグラム)を超えるアルコールが検出されたという。巡査部長は前日の夜に酒を飲んでいただけとみられる。

スピードを落として、しっかり安全確認！

◆スリップ事故 注意！◆

峠・橋の上・日陰・トンネルの出入り口
交差点手前、滑って交差点内で衝突！注意

幹線道路・農道の交差点は、確実な一時停止と左右確認・・・
相手車両は、止まらないかもしれない！

“重大事故”が多発する「薄暮れ時」に要注意

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

追突事故の多くが、低速追従時の安心感と油断からくる、車間不足と注意力不足

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」、「安全確認」で、危険な「まさか・・・」を根絶！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

午前8時 酒酔い運転でパトカーに追突、容疑の男逮捕

2015年11月9日(月)22時52分

9日午前8時35分ごろ、埼玉県で、酒に酔った状態で乗用車を運転した会社員の男性(55)を現行犯逮捕した。警察によると、男は渋滞で停止していた男性巡査(26)のパトカーに追突した。けが人はいなかった。男の呼気1リットル中0・5ミリグラムのアルコールが検出された。

◆前方で何が起ころかわかりません・・・「車間距離を十分に」◆

前方の乗用車がスピン、後続の大型トラックが追突

[2015/11/9 18:41]

9日午前10時前、福岡県の九州自動車道で、乗用車やトラックなど車3台が絡む事故がありました。このうち、乗用車を運転していた自営業の男性(75)の死亡が確認されました。警察の調べによりますと、男性の車が側壁に衝突してスピンしたところに、後続の大型トラックなどが追突したとみられています。

停車中のトラック、H鋼材後ろからはみ出し
後続のトラックが追突、H鋼材に押しつぶされ、運転手死亡

2015年11月9日(月)12時15分

9日午前1時39分ごろ、新潟市内のバイパスで追突事故があり、追突した大型トラックの運転手が、前のトラックの積み荷の建設用の鋼材に押しつぶされ死亡した。

警察によると、道路上に停車していた大型トラックに、男性(56)が運転する大型トラックが追突した。前のトラックの荷台には長さ9.4メートルの建設用の鋼材9本が積まれていたが、男性は鋼材に運転席を押しつぶされ、病院で死亡が確認された。

追突されたトラックの運転手は仮眠をとるため、近くのパーキングエリアに入ろうとして通り過ぎ、走行車線上でとまってしまったという。

労災事故 作業員死亡事故で会社などを書類送検

1人で作業、ベルコンに挟まれ死亡

(2015/11/9(月) 18:54)

去年6月、大分県の工場で男性作業員(28)がベルトコンベアに挟まれ死亡した事故で、労働基準監督署は安全対策を怠っていたとして会社と現場係長の男性を9日書類送検しました。事故当時、男性は原料を運ぶ、設備の点検作業に1人であって、労働基準監督署が安全管理体制などを調査していました。調査の結果、事故が起きる可能性があったのに非常停止装置を設置していなかったとして、9日会社と現場係長の55歳の男性を労働安全衛生法違反の疑いで書類送検しました。